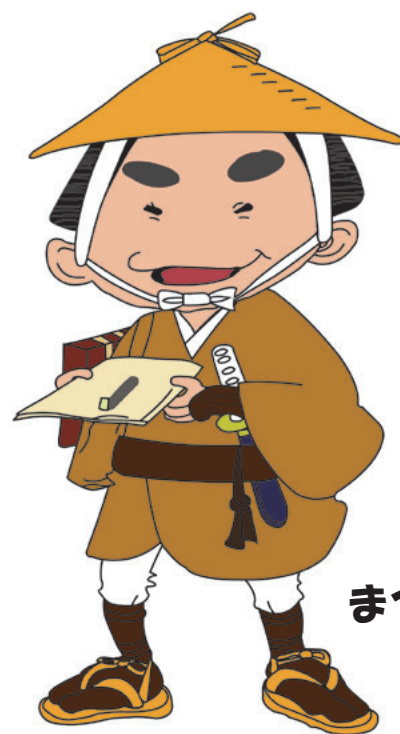
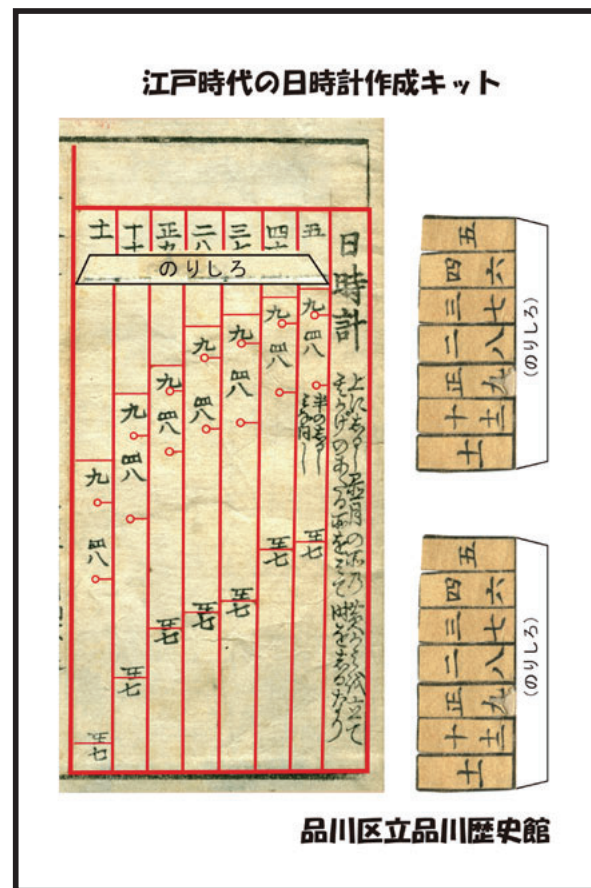


えど じだい ひ どけいさくせい
江戸時代の日時計作成キット



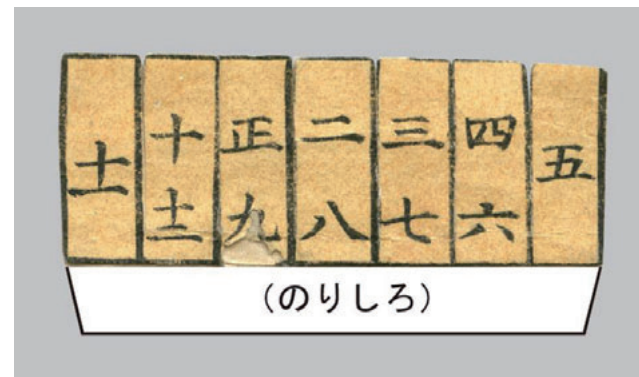
まつきち

品川区立品川歴史館



いっしょに入っているこの紙をつかいます

ぶんせい
文政3年（1820）5月につくられた
ひ どけい
日時計です。はさみとのりだけでつく
れますよ！



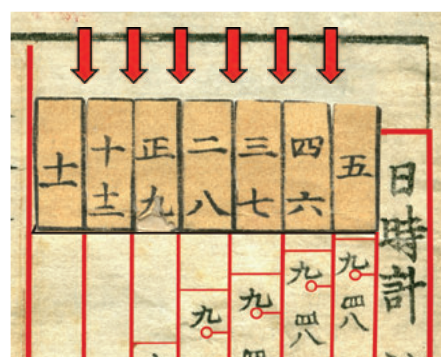
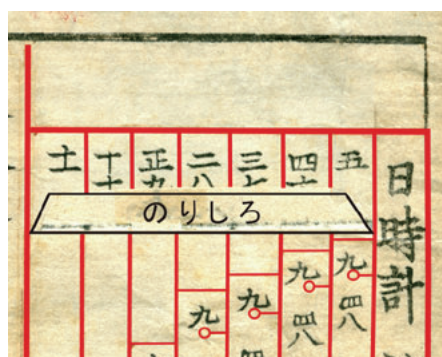
①この紙を^{かみ}黒い線にそって、きれいに^き切りとります。つかうのは1枚^{まい}だけです。もう1枚^{まい}はしっぱいしたらつかってね。



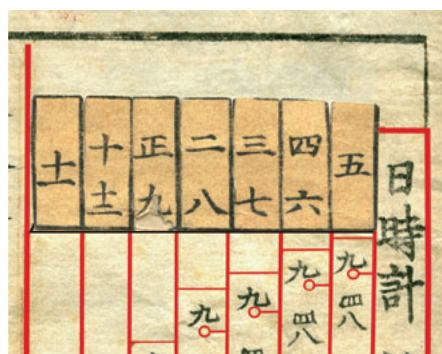
②「のりしろ」のところで山おりします。
しっかりおっておきましょう。



③「のりしろ」に、のりをぬります。黄色^{かみ}い紙にのりがつかないようにしましょう。



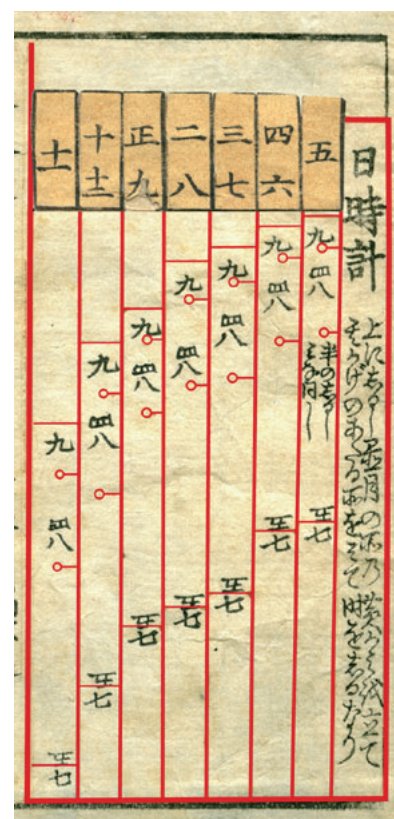
⑤はりつけた黄色い紙のうち、月がかかれた6ヶ所^{かしょ}を線にそって^き切ります。



④本体の「のりしろ」にあわせてはります。このとき、タテの赤い線^{せん}にもあわせて。ずれないようにしてね。



下の線^{せん}まで切ると、1枚^{まい}ずつ立てられるようになります。



⑥さいごに、本体^{ほんたい}をはさみで切りとってかんせい^きです。おめでとう！！

外に出て時間^{じかん}をしらべてみよう！
うらにつかい方がかいてあるから、
よんでね♪



おしのちゃん

日時計のつかい方

① ^{たいおう}いまの月に対応する月の紙を ^{かみ}まっすぐ立てます。

えどじだい
※下の表で江戸時代の月をみてみましょう。

②日時計を水平にもち、太陽に向けます。

③影がのび、いまのおおよその時間がわかります。

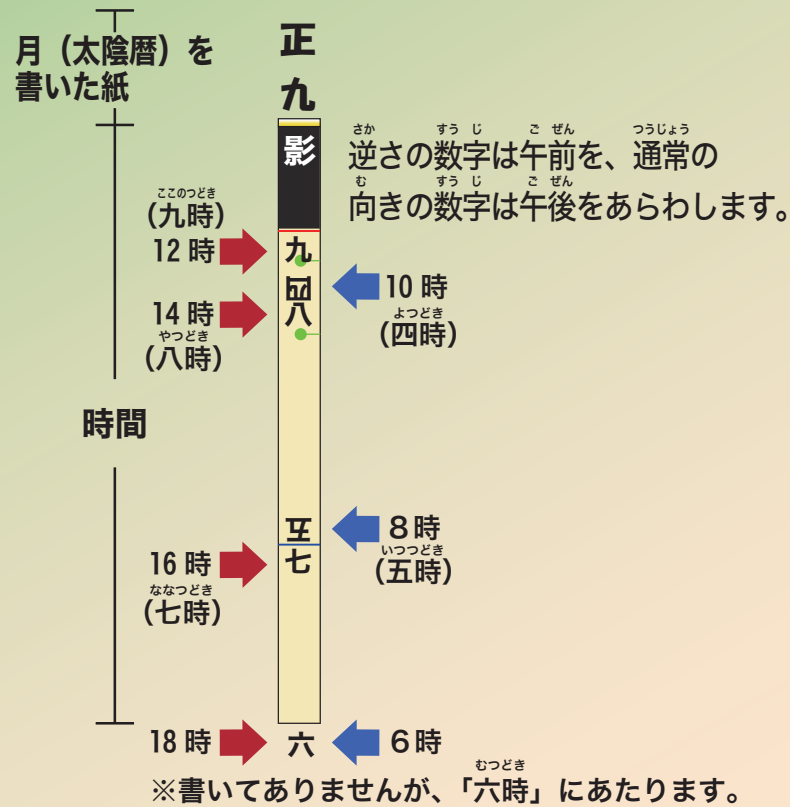
※影が赤い線のなかにおさまるようにします。



太陽に向ける

月がかかれた黄色い紙を太陽に向けると、影がのびます。

影が「九」まで伸びていると「九時」、つまりいまの12時だとわかります。

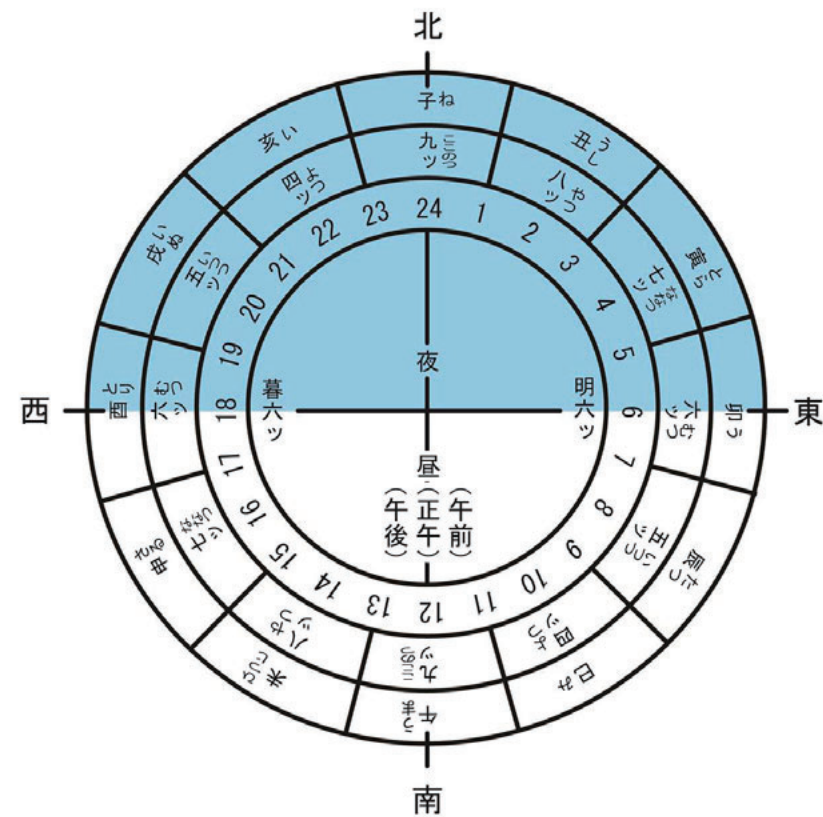


《太陰曆》		《太陽曆》
五月	→	6月
四月・六月	→	5月・7月
三月・七月	→	4月・8月
二月・八月	→	3月・9月
正月・九月	→	2月・10月
十月・十二月	→	11月・1月
十一月	→	12月

え ど じ だい たい いんれき
江戸時代のこよみ「太陰暦」は、
めい じ じ だい たいようれき
明治時代に「太陽暦」にかわり
ました。いまは太陽暦です。時
かん
間をしらべるまえに、左の表を
見ていまの月をかくにんしてお
きましょう。



平成 23 年 1 月 30 日、本物の日時計を
つかつて歴史館の庭で実験しました。



江戸時代といまつかつて
いる時間を表にしま
した。一ばん外がわに
干支、一つ内がわが江
戸時代の時間、もう一
つ内がわがいまつかつ
ている時間です。時間
を見くらべて日時計を
つかってみてね♪